性悪説（荀子）

名前（　　）　日づけ（　／　）　できた数（　／28）

使い方　書き下し文を声に出して読んでから、傍線の番号を手がかりに解きます。**山は「偽＝人為」、「是に順ふ、故に」の因果、「必将」の読みと「然る後に」、孟子の性善説とのちがい**です。本文は性悪篇の冒頭から「其の善なる者は偽なり」まで。

あらすじ＝儒家の荀子は、人の本性は悪で、善い部分は人為だと言い切る。人は生まれつき利を好み、ねたみ憎み、耳目の欲を持つので、そのままに従えば争いが起こって世が乱れる。だから師の教化と礼義の導きがあってはじめて世は治まると論じ、冒頭の主張をくり返して結ぶ。

一　次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

①人（ひと）の性（せい）は悪（あく）なり、其（そ）の善（ぜん）なる者（もの）は②偽（ぎ）なり。今（いま）、人の性、③生（う）まれながらにして利（り）を好（この）むこと有（あ）り。④是（これ）に順（したが）ふ、故（ゆゑ）に争奪（さうだつ）生（しやう）じて⑤辞譲（じじやう）亡（ほろ）ぶ。生まれながらにして⑥疾悪（しつを）有り。是に順ふ、故に残賊（ざんぞく）生じて忠信（ちゆうしん）亡ぶ。生まれながらにして耳目（じもく）の欲（よく）有り、⑦声色（せいしよく）を好むこと有り。是に順ふ、故に淫乱（いんらん）生じて⑧礼義（れいぎ）文理（ぶんり）亡ぶ。⑨然（しか）らば則（すなは）ち人の性に従（したが）ひ、人の情（じやう）に順はば、必（かなら）ず争奪に出（い）で、犯分乱理（はんぶんらんり）に合（がつ）して、⑩暴（ばう）に帰（き）す。故に⑪必将（かならず）師法（しはふ）の化（くわ）、礼義の道（みち）び）き有りて、⑫然（しか）る後（のち）に辞譲に出で、文理に合して、⑬治（ち）に帰す。⑭此（これ）を用（もつ）て之（これ）を観（み）れば、然らば則ち⑮人の性は悪なること明（あき）らかなり。其の善なる者は偽なり。

語注　性＝生まれつきの性質。本性。生まれながらにして＝生まれつき。残賊＝人をそこない傷つけること。忠信＝まごころと誠実さ。淫乱＝度をこえてみだらに乱れること。犯分乱理＝身分のけじめを犯し、道理を乱すこと。暴＝乱暴で秩序のない状態。道き＝導き（「道」は「導」と同じ）。治＝世の中がよく治まること。※「偽」を「ゐ」と読む本もある。「将」を再読文字として「故に必ず将に師法の化、礼義の道き有りて、…治に帰せんとす」と読む教科書もある。お使いの教科書に合わせてください。

性悪説（荀子）

A　語句の意味（1〜6）

(1) ②「偽（ぎ）」の意味を漢字二字で書け。

(2) ⑤「辞譲（じじやう）亡（ほろ）ぶ」の「辞譲」の意味を書け。

(3) ⑥「疾悪（しつを）」の「悪」の意味を、ひらがなの動詞（終止形）で書け（①の「悪（あく）」とは別の意味）。

(4) ⑦「声色（せいしよく）」の意味を書け。

(5) ⑧「礼義（れいぎ）文理（ぶんり）」の「文理」の意味を書け。

(6) ⑪の「師法（しはふ）の化（くわ）」の意味を書け。

B　句法（7〜12）

(7) ④の「故（ゆゑ）に」の意味と、その前後の関係を書け。

(8) ⑨「然（しか）らば則（すなは）ち」の意味を書け。

(9) ⑪の「将」を本文ではどう読んでいるか。また、再読文字として読むと⑬はどう読むか。

(10) ⑫「然（しか）る後（のち）に」の意味を書け。

(11) ⑭「此（これ）を用（もつ）て之（これ）を観（み）れば」の意味を書け。

(12) ⑮の白文は「人之性悪明矣」。「矣」のような読まない字を何というか。また「矣」の働きを書け。

C　指す内容（13〜17）

(13) ③で、生まれつき利を好む性質があるとされているのは何か。本文中から三字で抜き出せ。

(14) ④「是（これ）に順（したが）ふ」の「是」は何を指すか。

(15) ⑤で、辞譲がなくなるのと引きかえに生じるものは何か。本文中から二字で抜き出せ。

(16) ⑫「然（しか）る後（のち）に」とあるが、何があった後か。本文中から二つ抜き出せ。

(17) ⑭「此（これ）を用（もつ）て之（これ）を観（み）れば」の「此」は、どのようなことを指しているか。

D　口語訳（18〜21）

(18) ①②を含む「人の性は悪なり、其の善なる者は偽なり」を口語訳せよ。

(19) ④⑤を含む「是に順ふ、故に争奪生じて辞譲亡ぶ」を口語訳せよ。

(20) ⑨⑩を含む一文「然らば則ち…暴に帰す」を口語訳せよ。

(21) ⑪⑫⑬を含む一文「故に必将（かならず）…治に帰す」を口語訳せよ。

E　内容・記述（22〜25）

(22) ②「偽（ぎ）」を「いつわり・うそ」と訳すのは誤りである。「偽」の字の組み立てと、①の「性」とのちがいにふれて、ここでの「偽」の意味を説明せよ。

(23) ③⑥⑦とあるように、荀子は人が生まれつき持つ性質を三つあげ、それぞれに従った結果なくなるもの（「〜亡ぶ」）を述べている。三つの性質と、それぞれでなくなるものを、本文の語で書け。

(24) ⑩「暴（ぼう）に帰（き）す」と⑬「治（ち）に帰す」とで、行き着く先が分かれるのはなぜか。何があるかないかに注目して説明せよ。

(25) ⑮「人の性は悪なること明（あき）らかなり」とあるが、荀子はこの文章で何を主張しているか。「性」「偽」「礼義」の三語を使って五十字以内で説明せよ。

F　思想・文学史（26〜28）

(26) ①「人（ひと）の性（せい）は悪（あく）なり」とする荀子の説（性悪説）に対し、人の本性は善であると説いた儒家の思想家は誰か。また、二人の考えのちがいを、善がどこから来ると考えたかに注目して説明せよ。

(27) ⑧「礼義（れいぎ）」とあるように、荀子は礼によって人々を正し、国を治めることを重んじた。このような荀子の政治思想を何というか。漢字四字で書け。

(28) 荀子の門下からは、法と刑罰によって国を治める法家の思想を大成した人物と、秦の始皇帝に仕えて丞相となった人物が出た。それぞれの名を書け。

【テスト直前チェック】この三つ　❶「偽」は「いつわり」ではなく「人為」。「偽」＝「人」＋「為（なす）」で、人が後から手を加えて作ったもの。「其の善なる者は偽なり」を「善はにせものだ」と訳すと即アウト。　**❷「必将」は二字で「かならず」。**「必将〜有りて、然る後に…」＝「必ず〜があってはじめて…」。「将」を再読して文末を「治に帰せんとす」と読む教科書もあるので、自分の教科書の読みで覚える。　**❸孟子は「善の芽を育てる」、荀子は「悪を礼で直す」。**記述問題の答えは、「性（生まれつき）」と「偽（人為）」の区別と、師法・礼義が必要だという点に集まります。門下の韓非・李斯は法家へ。

▸ 漢文の参考書のおすすめ（楽天・Amazonのリンクつき）　kotennosennsei.com/kanbun-sankousho/　　▸ 解説記事にもどる